

# 第4章：大学生活で求められる ルールやマナーを知ろう

- 4-1. アカデミック・ルールやマナーには意味がある
- 4-2. 身近なところに存在するリスクを意識しよう
- 4-3. 多様な他者の学び・異なる価値観を尊重しよう

## 4-1. アカデミック・ルールやマナーには意味がある

### レポートや論文作成におけるルール

#### ◆ 参考文献を参照する場合

##### ① 信頼できる情報かどうかを確認する

- 著者は明確か（インターネットは責任所在が曖昧）

##### ② 正確かつ必然性のある範囲内で引用する

- 文献の引用と自分の文章を区別
- 引用部分に手を加えない

##### ③ 出典を明示する

- 著者、出版年、出版社、掲載ページ等の情報を明記
- ウェブサイトからの引用は、URLと閲覧日を明記

# 試験及びレポートにおける不正行為

「**剽窃(ひょうせつ)**」とは、

他人の著作物を無断で引用し、自分が書いたものであるかのように振舞うこと

- 安易にコピー&ペースト(コピペ)しない
- 他者の意見とあなた自身の意見を区別すること
- データを改ざん・ねつ造しない

**悪意が無くても不正行為とみなされます！**

# 不正行為に対する神戸大学のルール

- ◆「**不正行為**」を行った場合(試験・レポート等)  
該当する授業に限らず、その学期に履修する授業科目の成績が**全て無効**になる

※ レポート・・・成績評価に係る提出物

具体的に、何が不正行為にあたるのかは、授業によって異なるので、各授業・各学部に確認してください

# アカデミック・インテグリティ (academic integrity)

アカデミック・インテグリティとは、学問に取り組む上で言葉と態度が整合し、矛盾が無いこと

## ◆ 知的誠実さに欠ける行為

- 授業をサボった友人の代返をする

## ◆ 著作権法違反行為

- 図書館で借りた本を一冊丸ごとコピーする

みんなが  
やっている  
からいい

人に迷惑を  
かけなければ  
いい

誰も見て  
いなければ  
いい

# 学問分野によるアカデミック・ルールの違い

- 調査・実験などの基本作法
- 学術論文の形式  
(引用方法、参考文献の表記方法)

分野	特徴	理由
法学 歴史学等	注釈が多い	注釈が論証する上で重要な役割を果たしている
先端科学 分野等	発行年月日を重視	いつ発表した成果であるかが重要な意味をもっている

# メールを書くときの基本マナー

## 趣旨

- 相手に意図を正確に伝えること
- 相手に対して失礼な印象を与えることで、自分が損をしないこと

## 具体的な書き方

- 件名を入力する
- 本文に宛名と自分の氏名を明記する
- 用件、問い合わせする事情について明確に記載する

## 4-2. 身近なところに存在するリスクを意識しよう

### ◆ 気象警報による休講措置

- 神戸市に**暴風、大雪に関する警報**または**特別警報**が発表された場合の休講

発表時刻	休講措置
午前6時	午前中(1時限目、2時限目)
午前10時	3時限目、4時限目(午後の授業)
午後2時	5時限目(午後5時以降の授業)

※「大雨洪水警報」は対象外

※ 医学部医学科・保健学科で開講される授業は異なります

# 大学生活上のリスク①

## ◆通学時のリスク

- 公共交通機関のダイヤの乱れ
  - 「遅延証明書」をもらう、振替輸送の確認
  - 時間に余裕をもって登校する

## ◆気象警報や自然災害のリスク

- 学生の居住地での暴風や大雪警報の発表、地震などによる通学困難
  - 現実に即した柔軟な状況判断
  - 自分の安全確保が先決

## 大学生活上のリスク②

### ◆ 飲酒「イッキ飲み」のリスク

- 命を落とす危険性がある
- 殺人者になってしまう危険性がある
  - 周りの雰囲気流されない！
  - 勧められたら断る！

### ◆ 喫煙のリスク

- 自身の健康を損なう
- 副流煙で他者の健康に悪影響
  - ルールやマナーを厳守！

## 大学生活上のリスク③

### ◆ バイク通学のリスク

- **事故を起こしてしまう危険性が高い**
- **他者を事故に巻き込む可能性が高い乗り物**
  - 教務担当係または学生センターで  
駐輪登録をする
  - 歩行者スペースや点字ブロックに  
駐車しない
  - 深夜にバイクのエンジンをかけない

## 大学生活上のリスク④

### ◆ SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)のリスク

- 個人情報流出する危険性がある
  - 他者を誹謗中傷しない
  - 反社会的な発言を軽率にしない

**個人情報を安易に公開しない！**

**感情的な発言をしない！**

**長時間のめりこみすぎない！**

## 4-3. 多様な他者の学び・異なる価値観を尊重しよう

### ◆ダイバーシティ・アンド・インクルージョン (Diversity&Inclusion)

外見上の違いや内面的な違いにかかわらず、  
すべての人が各自の持てる力をフルに発揮できる  
ような環境をつくる考え方

外的な違い	人種、性別、年齢、身体障害の有無など
さまざまな 考え方	人生観、学問観、世界観、歴史観、科学、 人間関係のあり方、宗教に対する考え方

### ◆マイノリティの人々に対して

- 外見や先入観だけで不用意に評価しない



# 障害があるとはどういうことか

身体上の機能的な障害が社会的障壁によって解消されていないことにより、継続的に日常生活または社会生活に相当な制限をうけていること

例) 近視の場合

眼鏡、コンタクトレンズを装着する

➤ **障害がある状態は工夫と周囲の配慮によって軽減、解消することが可能**

# 障害のある人に対してあなたができること①

## ◆ 自分自身が障害のある人の社会的障壁にならないこと

- 点字ブロックの上に自転車を停めない
- 混雑している電車やバスの優先座席で眠りこけない
- 授業中に私語をしない
- レポート作成でフォントサイズを過度に小さくしない

➤ **自分が社会的障壁になっていることに気付くことで改善することが可能**

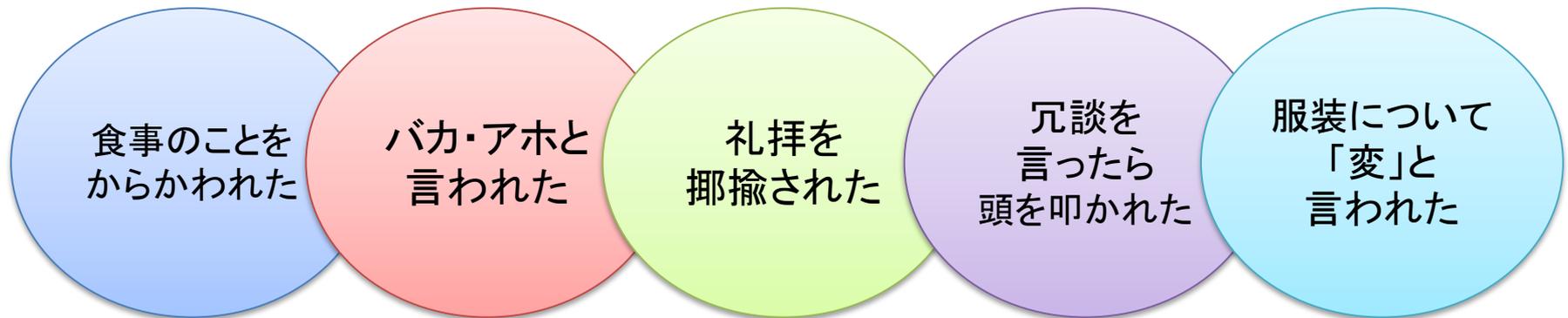
# 障害のある人に対してあなたができること②

## ◆一個人として可能な範囲で協力すること

<b>視覚障害のある人</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 必要だと思える内容を見つけたら積極的に伝える</li> </ul>
<b>聴覚障害のある人</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 文字で書く</li> <li>• 身振りで示す</li> </ul>
<b>車椅子の人 松葉杖をついている人</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ドアの開閉をする</li> <li>• 教室の入り口に近い座席を譲る</li> <li>• 荷物を持つ</li> </ul>

- キャンパスライフ支援センター(鶴甲第1キャンパス)にて、障害のある学生に対し、ボランティアで支援を行う学生サポーターを随時募集中

# 留学生から寄せられた「声」



無知や軽率な行動で留学生を傷つけてしまうことがある(ハラスメントの原因！)

- 相手の文化的背景について知る努力をすること
- 先入観は持たないように心がけること

# 異文化間のコミュニケーション

## コミュニケーションがうまくいかないと感じる時

双方の文化的慣習や価値観、行動規範の認識に「ずれ」が生じているのかもしれない

- 誠意を持って謝罪する
- 「どこに問題があったか」尋ねる
  - 価値観や行動範囲を認識し、理解することはあなたの思考の幅が広がる

## どうしても折り合いがつかない場合

- 相手の意見を尊重しつつ、「自分には受け入れられない」ことを自己主張してよい
  - 他者の学びを尊重することは、自分のことと同様に、相手の文化的多様性、価値観、行動範囲についても尊重するということ